



# 神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和元年11月15日

11月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

## 達成感と成長

校長 山内 清一

2学期が始まり2ヶ月が過ぎました。この2ヶ月の間に、生徒会役員選挙、文化発表会（合唱コンクール・有志合唱・吹奏楽部発表・ウィロビー参加生徒発表・演劇部発表）、校外学習（1年・2年）と様々な学校行事がありました。どの行事もそれぞれにねらいがあり、そのことにより生徒が成長する機会となっています。

生徒の成長には、「達成感」を感じることが大切です。アメリカMLBで活躍したイチロー選手が、10年連続200安打を達成したとき、あるスポーツ雑誌の取材に、イチロー選手は次のように答えました。

「今までの野球生活を振り返って、何かやり遂げたという達成感がないんです。何かをやり遂げたと思ったとき、できるかどうかわからないという半々の状態で結果を残せても、十分達成感を得ることができないんです。今までの自分は、それにしかすぎない。本当の達成感とは、やりたいことをしっかりとイメージして、自分の中で組み立ててそれなら7~8割できるはずだ、という確信をもった上で結果を残すこと。それができてこそ気持ちがいいし、本当の達成感を感じることができます。」

イチロー選手は、主体的に狙って、計画通りに事を進めて目標を達成した喜びは、偶然得た結果だけの達成感とは、まったく違うということを言いたかったのだと思います。

神明中学校の学校行事での生徒達の取組はどうでしょうか。合唱コンクールでは、生徒の実行委員を中心に各学級の伴奏者・指揮者・パートリーダーが協力し、学級全体の練習メニューやパート練習、歌の表現方法について生徒自らが指示を出し、合唱を作り上げていきます。準備や練習の段階では思うようにいかないこともありましたが、そのときこそ互いに支え合い協力する大切さを知り、各自が集団の一員として役割を果たし、自覚を深めています。そして、困難を乗り越えた後の合唱コンクール本番ではどのクラスも緊張しながら精一杯歌い、その歌声をホール中に響き渡らせることができました。歌い終わってからのほっとした生徒の表情には、やりきった満足感、充実感があふれています。

本番にしっかり歌えるというのは「偶然の結果」ではありません。生徒の主体的な取組があったからです。歌い終わったときは「本物の達成感」を感じることができたはずです。これからも生徒を成長させるためにこのような機会を大切にしていきたいと思います。

**【12月の予定】**

2日（月）～6（金）面談 12日（木）口腔衛生指導〈1年生〉  
〈3年生9（月）まで〉 14日（土）「お餅つき大会」  
8日（日）区中学校駅伝大会 25日（水）終業式